

野球

練習試合

彦根東 3-0 星城
6-1

センバツに向けて
新シーズン

赤鬼の春 10

好発進

2試合を通じて色々な投手が試された。



登板した投手 イニング

1試合目	原 功征君(2-8)4回
	増居翔太君(2-4)5回
2試合目	嶋崎 詠君(2-2)2回
	根元龍馬君(1-8)2回
	伊吹潤也君(2-8)1回
	中谷 凌君(1-8)2回
	朝日晴人君(2-4)1回
	高内 希君(2-8)1回



3月10日に彦根球場で本校野球部と愛知県の星城高校野球部が練習試合を2試合行った。試合は選手にとって冬練習の成果を発揮するとともに、感覚を取り戻す良い機会となった。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	R
星城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
彦根東	0	0	0	0	3	0	0	0	X	3

1試合目は本校が後攻でスタートした。前半は両チームともに走者を出すも、得点につなげられずにいた。試合が動いたのは5回裏。この回先頭打者の山岡右京君(1-8)が二塁打で出塁し相手のミスで走者一、三塁とするも、途中出場の増居翔太君(2-4)の適時打で1点を先制した。その後もバントで走者を進め相手のミスで1点、続く朝日晴人君(2-4)が適時打を放ち、この一回一挙に3点を挙げた。6回以降も堅い守りを見せ、3-0で勝利した。

2試合目は先攻となった。2回に1点を先制されたが直後の3回に1死から永井結登君(2-5)が出塁し盗塁を決めると、井上人太君(1-5)が適時二塁打を放ち1点を返した。さらに代打小山伶君(2-8)の適時打で逆転した。その後は毎回走者を出すも得点できず、9回を迎

えた。無死から走者を出し一死満塁とするも相手のミスで1点、途中出場の宇野圭一郎君(2-6)の適時三塁打で2点を追加し、相手突き放した。さらに相手のミスで1点を追加し、6対1で勝利した。

監督の村中隆之先生は「自分にとっては采配の感覚を思い出しながらの試合だった。特にバントや自分たちのサインプレーなど課題が見つかった。甲子園練習までにタイミングやリズム、呼吸などを掴みたい」と意気込まれた。星城高校主将の小笠原啓介君(2年)は本校の印象を「バッテリーが安定していた。彦根東は少ないチャンスで得点するなど、自分のペースに持ち込めていた」と話した。

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	R
彦根東	0	0	2	0	0	0	0	0	4	6
星城	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1